

課題研究「アクティブラーニングの効果検証」2015年度活動報告

研究代表者：溝上慎一（京都大学）

研究メンバー：三保紀裕（京都学園大学）・本田周二（島根大学）・山田邦雅（北海道大学）・長澤多代（三重大学）・徳井美智代（北海道大学）・関朋昭（名寄市立大学）

◆活動内容：

- ・2015年11月28日 打ち合わせ（於：岩手大学）
- ・2015年11月29日 2015年度課題研究集会（岩手大学）

報告者：

溝上慎一（京都大学）「企画主旨ならびにアクティブラーニング効果検証の理論的・測定的フレームワーク」

三保紀裕（京都学園大学）「2015年前期対象授業のプレ・ポストの分析結果」

山田邦雅（北海道大学）「理系の観点から見たアクティブラーニングの課題」

長澤多代（三重大学）「フォトボイスを活用したアクティブラーニング型授業の教室外学修の実態」

指定討論者：小笠原正明（北海道大学名誉教授）

- ・2015年12月8日 酪農学園大学来訪（北海道大学）
山田邦雅「フリーライダー防止をめざしたグループ学習」
- ・2016年3月9日 平成27年度京都外国語大学 AP シンポジウム
三保紀裕「アクティブラーニングの効果をどう捉えるか？」

◆その後の作業内容：

- ・京都チーム（溝上・三保・本田）「AL型授業科目の効果指標の開発と検証」
 - －2016年2月 AL外化尺度項目の決定、フィードバックシートのデザインを決定
 - －2016年3月14日時点 AP選定校の7大学、22科目のAL型授業のプレ・ポストデータを入力・分析済み。フィードバックを順次おこなっている。
 - －2016年3月末 作業中の科目まで含めて、3月末には約40科目になる予定。
 - －2016年4月より、森朋子（関西大学）、山田嘉徳（大阪産業大学）を加える予定。
- ・北海道チーム（山田・徳田）「主体性尺度の開発と長期的視点の育成に関する調査」
 - －2015年12月 担当を「主体性尺度の開発」を山田、「長期的視点の育成に関する調査」を徳井に分担し、互いにアドバイザーとして関与する形とする。
 - －2016年1月 試行版主体性尺度の決定、アンケート様式の作成、1クラスで実施。
 - －2016年2月 試行版担当教員による主観評価項目の素案作成
- ・長澤「フォトボイスを活用したアクティブラーニング型授業科目における教室外学修の実態調査：山口大学の「山口と世界」の事例をもとに」
 - －2015年12月 調査対象者となった学生への事後インタビューを実施した。
 - －2016年2月 事後インタビュー、質問紙調査の結果をもとに、「山口と世界」の担当教員、総合図書館の図書館関係者3名とともに、2015年度の授業計画及び図書館サービスのあり方を振り返り、2016年度の授業計画および図書館サービスの改善方策などについて検討した。
 - －2016年10月からの後期前半に2015年度と同じ「山口と世界」においてフォトボイス調査及び質問紙調査を実施し、授業計画および図書館サービスを見直した後の効果の検証を予定している。